

トカプチの風

令和2年7月10日発行 第13号



学びに主体性をもたせる組織的な家庭学習の取組を

「プリントを与えると家庭学習に取り組めるけれど、ノートだと何に取り組んだらいいか困ってしまう…。」このような子どもの姿に悩みをもっている先生がいるのではないのでしょうか。自ら学習課題を見出し、「主体的に学び続ける学習者」を育てるためには、家庭での学習の進め方を学校全体で指導することが必要です。

自ら学習課題を見出し、学び続ける力を育むには、段階的な指導が必要になります。

- STEP 1 自ら学ぶ意欲を高める
- STEP 2 課題を選ぶ判断力を育む
- STEP 3 課題を見付ける分析力を育む

全てのSTEPを通して
「学ぶよさ」を実感させていく



下の例は、ある小学校の家庭学習の取組です。全教職員が共通理解を図り、学校全体で取り組んでいます。

【学校として育てたい家庭学習の力】 自ら学習課題を見出し、学び続ける力

STEP 1 自ら学ぶ意欲を高める

どのような取組も、家庭学習として認めましょう。

1年生

家庭学習って楽しいな！

- 自分の好きなマンガの説明をする。
 - 自分の好きな絵を描く。
 - なわとびを跳んだ回数を記録する。
 - その日のうれしかったことを書く。
- など、自分の好きなことに取り組みせ、先生や保護者が認め、励ますことが大切です。

10分 1ページ

子どもと先生が相談して課題を決めましょう。

2年生

学校で勉強したことって楽しいな！

- 算数で習ったことをお家の人に教えよう。
 - 国語で読んだお話をお家の人に教えよう。
 - 生活で育てているお花を本で調べよう。
- など、授業の内容を振り返りながら、子どもに課題を提示します。例え取組が稚拙なものであっても、認め、励ますことが大切です。

20分 1ページ

STEP 2 課題を選ぶ判断力を育む

学習との関連を意識して課題を提示しましょう。

3年生

課題を決めるって楽しいな！

- 授業の学習課題を家庭学習の課題にする。
 - 授業の学習内容をお家の人に説明する。
- など、学習との関連を意識した課題を提示します。また、必要に応じて、自分の取り組みたい課題を決める日も設けることで、課題を決める楽しさを味わわせることができます。

30分 1ページ

複数の課題を提示し、選ばせましょう。

4年生

自分にはこの課題がぴったりだな！

- 授業の学習課題を家庭学習の課題にする。
 - 授業の学習内容をお家の人に説明する。
- など、学習との関連を意識した課題を4つ提示するとともに、自分の学習状況を振り返らせ、課題を選択させます。また、日々の取組の成果や課題を認知させていくことが必要です。

40分 2ページ

STEP 3 課題を見付ける分析力を育む

自分で課題を決めさせましょう。

5年生

この課題で苦手を克服しよう！

- 課題を決めさせる際に、以下の点に留意します。
- ①その日の授業の学習状況を振り返らせる。
 - ②苦手と感じた学習や理解が不足していると感じた学習と、その理由を明確にさせる。
- また、取組への抵抗が生まれないように、自分の得意を伸ばす課題を決めさせる日も必要です。

50分 2ページ

自分の目標と照らし合わせて課題を決めさせましょう。

6年生

1週間で、ここまでできるようしよう！

- 課題を決めさせる際に、以下の点に留意します。
- ①自分の今までの学習状況を振り返らせる。
 - ②1週間の目標を決めさせる。
 - ③目標達成を意識して毎日の課題を決めさせる。
- 中学校進学に向けて、戦略的・攻的に自分の学習を進めていく必要があります。

60分 2ページ

※取組ノートの例は、各学年で見本を提示する。



再び長期の臨時休業になった場合、子どもたちは1日の時間のほとんどを自分の家で過ごすこととなります。そのような時でも子どもたちの学びを保障するために、家庭学習の取組は欠かせません。今後に備えて、組織的な家庭学習の取組を推進しましょう。